



# うさぎだより

中野区議会議員●無所属

## 佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 中野区中野 1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野 4-8-1 無所属控室 TEL.3228-8874  
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail:usagidayori@hotmail.com 編集・発行:住民自治をすすめる政策研究会



障害者団体が呼びかけた大震災障害者救援募金活動に参加

東日本大震災により亡くなれた多くの方々に心よりお悔やみ申し上げます。  
津波で家族や住まいを失った方々、原発事故で町を去らねばならない方々、仕事を失った方々が何万人もいます。その生活再建が大きな課題です。また、放射能汚染の拡大で特に小さなお子さんのいるご家庭は不安のただ中にいらっしやることと思います。放射能の封じ込めが一刻も早く行われ、二度と起こらないようにすべての原発を廃炉にすることが必要です。

うさぎだより最終号

### 被災者支援 脱原発を

2011.3.11

### 停電時、命をつなぐ対策を

計画停電で心配な人工呼吸器や吸引器等を使っている方々を訪問。区に全員の状況を把握を依頼。約80人を確認。2時間位は大丈夫だが大停電になると命が危ない。停電時の電源確保など対策が必要だ。

### 情報提供をしつかりと

計画停電も乳児への飲料水の配布の情報も、多くの人に伝わらず混乱した。ホームページだけでなく、緊急な情報を広報車や貼り紙などでも伝える

### 避難者に空き住宅の提供を

福島県から避難してきた障害のある方々の声から、避難者を受け入れる宿泊施設や空き住宅の提供を区に働きかけた。

### 被災者生活再建支援法

阪神淡路大震災後、小田実さん達と市民議員立法運動に取り組み被災者生活再建支援法を実現。東日本大震災にも適用され、さらに、復興支援基本法も検討されている。

## 議会中、緊急地震速報

### 「5・4・3…」と秒読みが始まった

「2・1・0」とたんに大きく揺れだした。議会棟の壁にもひびが入った。障害者防災委員会のYさんにメールで会員の安全確認を依頼。厚生委員会を急ぎ終了して街に出る。スーパーは商品が倒れ閉店。自転車で近所を見て回る。高齢者宅を訪問した民生委員さんとも情報交換。テレビでは津波で家々が流れる信じられない光景が映っていた。

地震で電車がすべて止まった。夜、帰宅困難者の避難所として開放された近くの第9中学校にかけつけた。中野駅付近で案内チラシをもらった人たちが続々と避難してくる。毛布を出したり受付を手伝う。

夜中の12時ごろまでに250人以上も。

朝の食料をお願いするため近くのコンビニ二へ行くが3軒の店ともおにぎりもパンも空っぽ。中野サンプラザも避難所として開放された。帰宅困難者問題の大きさを実感した。

後日、障害者防災委員会が主催した意見交換会では、マンションのエレベーターが止まり、部屋から出られない、部屋に帰れない車いす利用者や、会社等から1人で帰る知的障害者らが不安な状況にあったことなどが報告された。

震災当日の厚生委員会で2年間検討を重ねた「中野区地域支えあい活動推進に関する条例」を全会一致で可決した。災害時の要援護者の安否確認に役立つ条例になる。(詳細は4面)



議員は長くやるものではないと考え、5期20年間を区切りに区議会議員を4月末で引退します。長い間支えていただき、ほんとうにありがとうございました。ごさいました。

二〇一一年第1回定例会一般質問

私の原点は「地域で暮らしたい」という重度の障害のある人達との出会いです。

ヘルパー制度がなかった40年前、施設から出て地域で暮らすとする人の介助をしていました。だれもが地域で暮らせるために、24時間の支えあいの総合体制が必要でした。

その総合体制の推進のために、区は4カ所のすこやか福祉センターと15カ所の区民活動センターを新しく地域支えあい推進室にまとめました。しかし「組織が変わって困る。」との声があります。何を目標としているのか、組織全体の姿を、支えあいに関わるすべての人としてつかり共有するべきです。

20年前、認知症高齢者を看取った家族たちがデイクラブをはじめ、私もそのお手伝いをしていました。預かるころもなく、介護者は疲労困憊していました。保健所の保健師や区役所のケースワーカーに相談してもアドバイスが違ふことがあり、どこに相談すればよいのかとの声を介護家族から聞きました。議員になり保健と福祉の総合窓口が必要だと訴えました。



少子高齢社会は新たな課題を生み出しています。一人暮らしの高齢者の増加、子どもを抱え親の介護をしている人、ひきこもりの子に悩む年若い親など、さまざまな機関や支援者の関わりが必要な家庭が増えていきます。だからこそ、さらに関係機関を広げ、横につなぐ組織が必要です。

支えあいの  
ミッションの共有を

**佐藤** 区長は支えあいを推進する組織の目標や全体像をどのように考えているのか。職員や関係機関などとの目標の共有をどのように行うのか。

**区長** すこやか福祉センターは、身近な地域で保健や福祉のサービスを総合的に区民に提供するとともに、子育て家

庭や高齢者、障害者をまわぐるみで支える支えあいの地域づくりを行う。区職員への周知、関係機関との連携をより強固にし、目標の共通理解を進めていく。

**佐藤** 障害者自立支援法の改正で再来年度から相談支援事業者による障害者のサービス利用計画の策定が必要になり、障害者相談支援体制の強化が求められる。すこやか福祉センターを来年度3ヶ所拡大するが、どのように対応するのか。

**区長** すこやか福祉センターの相談支援事業所は、障害者個々の総合的なケアマネージメントができる相談事業にしていくために、委託事業者とともに研究し事業の充実を図っていく。

**佐藤** 24時間365日の支援体制がすこやか福祉センターに求められている。相談を受けるだけではなく、連携する機関などを検討し、緊急時の預かりや訪問などいつでも動く支援体制が必要だ。

**区長** すこやか福祉センターでは、委託によつて24時間の相談体制をとっている。相談者が必要とする支援につなげていくことができるよう、各種事業者との連携を深め、支援体制の充実を図る。

就労支援センター  
機能の強化を

中野区障害者福祉事業団（以下、事業団）の登録障害者数も年々増加し、就労実績も伸びている。利用者の増加や事業の拡大に対応できるよう、事業団の就労支援センター機能の強化が必要だ。

**佐藤** 多くの自治体が「障害者就労支援センター」として相談窓口を開設しているが、中野区では「就労」という言葉が表になく相談先がわかりにくい。わかりやすくすべきだ。

**区長** 障害者の就労支援が事業団の大きな役割となつている。就労支援を含んだ名称も掲げることができないか検討する。

**佐藤** 事業団にはカウンターもなく相談しにくいという声もある。稼働率が半分にも満たない2階の職員研修室を移転するか、共用の訓練室にし、1階に相談カウンターなどを整備するべきだ。

**区長** 職員研修センターで利用していない時間などの活用について検討したい。

**佐藤** すこやか福祉センターや生活支援分野などと連携し、障害者だけでなく高齢者や女性、若年者など就労困難

者の総合的な就労支援体制の整備をはかるべきだ。

**区長** 事業団は幅広い障害者の就労支援を行っている。現時点で対象を障害者以外に広げることが考えていない。

前日の急なお知らせにもかかわらず、私の最後の本会議質問にたくさんの方々も傍聴にきてくださり、胸が熱くなりました。議会棟はエレベーターがなく、電動車いすではじめて傍聴にきた若者が傍聴できず、応接室でモニターで見ることになり、ほんとうに申し訳なかったです。車いすで傍聴や議会活動もできるように議場のバリアフリー化が必要です。



鉦路市のNPO地域生活支援ネットワークサロンが運営する冬月荘で、生活保護世帯の中学3年生を教えている青年達と、以前は人と話せなかつたと明くる語る。多様な人の場づくりに感謝。

## 佐藤ひろこの活動日誌から

### 1月

- 26 厚生委員会／観劇「東尋坊命の番人」
- 28 障害者防災委員会／補正予算内示  
中野区福祉団体連合会新年懇親会
- 29 さくら館もちつき大会／おでんくらぶ
- 30 中野区リフレッシュ広場健康・食育まつり
- 31 タッチの会

### 2月

- 1 中野だいき会
- 5 まちなかサロンあさひの家見学  
中野区歴史民俗資料館おひなさま展
- 7 成年後見制度説明会
- 9 障害者防災委員会
- 10 本一高齢者会館見学
- 11 勇美記念財団助成事業共同研究者打ち合わせ
- 13 もぐもぐじょうずの会／ニットカフェ
- 16 中野区障害者福祉事業団見学  
朝・日友好親善中野・杉並新春の集い
- 17 新宿区勤労者・仕事支援センター視察
- 18 中野の産業の活性化と街のにぎわいづくりセミナー
- 19 区民ふれあいの集い
- 21～23 本会議（佐藤ひろこ一般質問）
- 24 予算特別委員会総括説明
- 25 ボランティア相談員研修
- 26 おでんくらぶ（医療的ケアについて意見交換会）
- 28 予算特別委員会総括質疑

### 3月

- 1 予算特別委員会（佐藤ひろこ総括質疑）  
中野区手話奉仕員養成講習会閉講式・交流会
- 2・3 予算特別委員会厚生分科会
- 4 地方公共団体・NPO連携によるHIV対策
- 5 おでんくらぶ／女性デー2011
- 6 にぎわいフェスタ／さくら館まつり
- 7 ボランティア相談員研修／予算特別委員会
- 8 はな・ミーティング／本会議予算可決
- 9 石坂わたると佐藤ひろこの福祉トーク
- 10 厚生委員会
- 11 中小企業退職金共済会理事会／厚生委員会  
東日本大震災／帰宅困難者避難所手伝い
- 12 福祉トーク（震災関連情報など意見交換）
- 13 もぐもぐじょうずの会
- 14 中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり特別委員会  
在宅療養者へ人工呼吸器等の停電時の対応の聞き取り
- 15 福祉トーク
- 16 障害者防災委員会／最終本会議
- 17 高次脳機能障害セミナー
- 18 第九中学校卒業式  
人工呼吸器等利用者の停電対応策を区と話し合い  
被災地へ在宅医療器材等の搬送を中野区に依頼
- 19 ボランティアセンターボランティア会で震災関連情報交換
- 19・20 福島県いわき市から避難してきた障害者達と
- 22 ベビーサロン南台など認証保育園見学
- 24 谷戸小学校卒業式
- 25 被災人工透析患者の受け入れについて相談  
東北関東大震災障害者救援募金活動
- 26 障害者防災委員会「震災体験の意見交換会」
- 27・28 鉾路市NPO地域生活支援ネットワークサロンなどを訪問
- 29 中野2丁目保育室事業開始式／ボランティア研修
- 30 臨時議会

## 予算総括質疑

### 区民活動との連携を

**佐藤** 無縁社会といわれ孤立する人が増えている。中野区は人口の約6割が単身者。だからこそ、人と人をつなぐために、行政が区民や民間活動と連携することが重要だ。来年度は、支えあいネットワークや区民活動センターをはじめ、住民自治の出発の年だ。関係する区民や民間と情報を共有し、一緒にすすめていく基盤を作っていくべきだ。区民活動を支援している社会福祉協議会ボランティアセンターとの連携はとれているのか。**地域活動担当** 継続的に協力・連携をとっている。



にぎわいフェスタ。旧桃が丘小がNPOの力で大変身。

**佐藤** 新しくはじめる地域支援あいポイント制度についてもボランティアセンターや町会などと事前の協議はなかったとのことだが。**地域活動担当** 不十分な部分もあったとすれば、今後の地域支援あい推進室で一体的に協力関係を進めていきたい。**佐藤** 障害者防災委員会は4

年前、障害者団体が集まり自分たちで災害時の助け合いを考えようと民間財団の助成を受けて始まった活動だ。今年度からは区民公益活動政策助成を受け、防災分野や福祉推進分野などが、町会や民生委員とのつなぎ手となり、活動に広がりが出た。区民活動と連携するコーディネーターの役割が区職員に必要だ。**地域活動担当** 関係機関をつなぐコーディネーターの視点を大事に取り組み。

### 歴史民俗資料館の 回想法への活用を

**佐藤** 昔懐かしい生活用具など見ながら体験したことを語り合い、脳を活性化させる介

### 区民と里・まち連携を

**佐藤** 先駆けて里・まち連携に取り組んでいるブロードウェイ商店街振興組合は、今年には岩手県遠野市との交流を

護予療法を回想法という。北名古屋で歴史民俗資料館と福祉が連携し地域回想法が行われている。中野区も区民から多くの昭和期の寄贈品がある。回想法にも役立つように、昭和の日常生活用具の展示に力を入れてはどうか。**生涯学習担当** 歴史民俗資料館が教育委員会から健康福祉部に移るのを契機に、健康や生きがいづくりに役立つような収蔵品の活用方法についても検討したい。

### 佐藤ひろこの収支報告 2011年2月～3月

		2月	3月	期末手当
収	報酬	588,200	588,200	213,222
	費用弁償	6,000	15,000	—
支	税金	72,840	72,840	31,559
	年金・保険	182,900	182,900	15,975
出	活動費	138,986	81,022	15,000
	積み立て	6,000	15,000	—
残		¥193,474	¥251,438	¥150,688

\* 議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。なくすべし。区への返金は法的にできないので、積み立て、区外の団体に寄付をしている。東日本大震災障害者救援募金に寄付。

行う。独自に里・まち連携に取り組む商店街やNPO等の意見交換の場として協議会を立ち上げてはどうか。**産業振興担当** 交流の実態を担う関係者を構成員とした協議会を来年度立ち上げる。

## 「うさぎだより」20年間の主な歩み

- 3号 (1991.5.20) 初当選  
区からの当選祝いのお酒を初めて返す。以後廃止に。
- 7号 (1992.4.15)  
「上野原区外スポーツ施設用地取得に問題あり」  
佐藤ひろこの予算質疑がテレビニュースに。
- 11号 (1993.4.22)  
本会議に初の手話通訳。  
「うさぎだより」が高校生の社会科の副読本に掲載される。
- 14号 (1994.1.20)  
教育委員候補者選出区民投票＝準公選が廃止の危機。  
なくさないで区民の投票権。
- 16号 (1994.5.15)  
区長・議長・教育長交際費から右翼団体に支出。住民監査請求から住民訴訟。
- 21号 (1995.7.24) 2期目  
阪神淡路大震災で神戸の被災地障害者救援センターへ。
- 26号 (1996.10.25)  
仮設住宅に泊まって被災地から学ぶ。被災者生活再建支援の市民＝議員立法を。
- 28号 (1997.4.25)  
上野原スポーツ施設建設設計画の中止を。予算にたった一人で反対。
- 33号 (1998.7.30)  
こうなる介護保険ここが心配。国会で被災者生活再建支援法が成立。
- 39号 (1999.11.20) 3期目  
どうする借金つけの区財政。えっ保健福祉センターをなくすの？
- 43号 (2000.11.15)  
だれの責任？失敗した計画と塩漬け用地。区長の責任は大きい。
- 48号 (2002.1.23)  
ひどい区財政。多額の税金をつぎ込んだまま見通しがたたない計画。
- 50号 (2002.8.1)  
区長を変える！田中大輔新区長当選。上野原スポーツ学習施設設計画廃止宣言。
- 51号 (2002.11.20)  
区長交際費を全面公開。住基ネット切断。
- 53号 (2003.2.18)  
地域で生きる。24時間の介護保障を！
- 55号 (2003.8.6) 4期目  
ちょっと待って住基ネット再接続。
- 57号 (2004.2.6)  
公募区民参加の基本構想ワークショップ・外部評価委員会。
- 60号 (2004.11.30)  
『弱者の味方』を改革の魂に。障害者の就労支援を。
- 62号 (2005.5.25)  
新しい基本構想と全国初の区長の任期が盛り込まれた自治基本条例を可決。
- 67号 (2006.8.31)  
全国に先駆け障害者の社会参加を支える地域生活支援事業を原則無料化。
- 72号(2007.8.22) 5期目  
重い障害があっても在宅で暮らせるように必要なだけ介護時間を。
- 77号 (2008.11.28)  
医療的ケアを必要とする人への支援を。中野サンプラザ問題とは？
- 78号 (2009.2.12)  
10万人失業は災害、生活再建の支援を。障害者アートでまちづくり。
- 81号 (2009.12.12)  
国に先駆け離職者支援の総合相談窓口を実施。
- 83号 (2010.4.23)  
地域社会の絆を結び直す。支えあいネットワークづくりを。



うさぎだよりNo.1



ホームページ

## 「中野区地域支えあい活動の推進に関する条例」を可決

災害時にも役立つしくみになる。課題は見守り活動をどうするか。

### \*区の役割を定めた

支援を必要とする者の状況等調査を実施し、情報を収集。

### \*これからのスケジュール

6月 見守り用名簿を希望する町会を確定

8月 見守り用名簿を希望する町会の対象者へ通知

70才以上の単身者75才以上のみ世帯(不同意の申し出があれば名簿に載せない。)

・障害者(本人や保護者から同意を得て名簿に載せる。)

・児童その保護者で区長が支援が必要と認めた者(保護者の申し出により名簿に載せる。)

9月 希望町会は名簿管理者と名簿閲覧者を届出。区と町会は個人情報保護など協定書締結。名簿は閲覧のみでコピー禁止。名簿管理者が名簿を不正に提供した時は30万円以下の罰金。名簿はすこやかセンターで保管

●放射線量や被災者支援などの情報を佐藤ひろこのホームページにアップ。今後も佐藤ひろこのホームページを残し、福祉政策の研究や活動を伝えます。

●被災障害者救援募金はこちらへ郵便振替口座

\*0098007740043

\*「ゆめ風基金」

\*00140077429771

\*「東北関東大震災障害者救援プロジェクト」

\*001100247127  
「DPI日本会議通信欄に障害者支援金と明記(寄付金控除あり)」

### あとがき

上野原スポーツ

施設計画を止めるためたった一人で予算に反対した時期。区長を変え、区民と区政全体に責任を持つ立場で、どん底の区財政を立て直し、区政改革に取り組んだ時期。自分の意見を言うだけでなく、合意づくりが一番大切でむしろ、いいことを学びました。

5期20年間の多様で貴重な経験を活かして、福祉政策の研究やボランティア活動などに、今後も皆さまと共に取り組んでまいります。

## みんなで交流会

4月29日(金・休日)

午後2時～4時

スマイルなかの3階A・B会議室

これまでに出会った人やグループなどの活動紹介とお茶飲みながらのおしゃべり会  
お気軽にいらしてください。

お茶菓子代 100円

